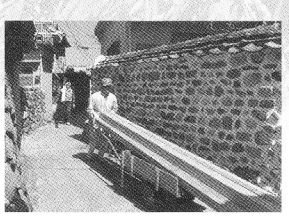
1000年前、沖で難破した船を助けたことから
農耕がもたらされ、子孫が栄え、
現在に至るまでいのちをつないできた
小さな島がある。



山口県上関町祝島。
瀬戸内海に浮かぶこの島は、
台風が直撃することも多く、
岩だらけの土地には確保できる真水も限られ、
人が暮らしやすい環境とは
決していえない。
その中で人々は、
海からもたらされる
豊穣な恵みに支えられ、
岩山を開墾し、暮らしを営んできた。
そして互いに助け合い、
分かちあう共同体としての結びつきが育まれた。
人間の営みが自然の循環の一部であることが、
祝島でははっきりと見える。

「海は私たちのいのち」と島の人は言う。
一九八二年、島の対岸四キロメートルに
原子力発電所の建設計画が持ち上がった。
「海と山さえあれば生きていける。
だからわしらの代で海は売れん」
という祝島の人々は、
以来二八年間反対を続けている。

効率と利益を追い求める社会が生み出した原発。
大きな時間の流れと共にある島の生活。
原発予定地と祝島の集落は、
海を挟んで向かい合っている。

一〇〇〇年先の未来が
今の暮らしの続きにあると思うとき、
私たちは何を選ぶのか。

いのちをつなぐ暮らし。
祝島にはそのヒントがたくさん詰まっている。

我々はテクノロジーに振り回されている。
もっと便利になりますよ、
と耳元で囁く声にうかうかと乗っている。
目を覚ますためにはこの映画を見るのがいい。
おっとりとした日々の記録の中に
とても大事なことが隠されているのに気づいた時、
あなたは慄然とするだろう。
老人たちの顔に過去ではなく未来を読み取るだろう。

池澤夏樹 作家

「祝の島」公式ホームページ　http://www.hourinoshima.com/

撮影 大久保千津奈（KBC映像）／編集 四宮鉄男／音響設計 菊池信之／ナレーション 斉藤とも子／絵 西村繁男
グラフィックデザイン 森デザイン室／宣伝 ブラウニー／制作 石川翔平／製作デスク 中植ささら
製作統括 大槻貴宏／協力 祝島のみなさん、KBC映像、祝島島民の会、映画「祝の島」を応援する会／製作 ポレポレタイムス社

監督 **纐纈あや**（はなぶさ）　プロデューサー **本橋成一**

2013. 2/23（土）「祝の島」上映＆トーク
～いのちの海を受け継ぎたい～

入場開始　13：00から　上映開始 13：30から　上映終了後トークショー

入場券　一般 1,000円
（中高生 500円）

会場　竹原市民館１階ホール
（竹原市役所西となり）

主催：「祝の島」たけはら上映実行委員会　問い合わせ 080-3882-2372（岡田）（加盟ア順：I女性会議竹原支部・カフェ日の丸・坂本農場・鷺の森陶房・桜の山農園・瀬戸ふるさと農園・竹原おや子劇場・竹原市職員労働組合・陶工房風土・毒ガス島歴史研究所・なかざわ・長森農園・ハチの干潟調査隊・パンプトン農園・広島県教職員組合三原海田地区支部竹原市区・部落解放同盟竹原市協議会・前川酒店）